

# 平成24年度「学校版環境ISOコンクール」の取組における概要報告

水俣市立水俣第二中学校

## 1. 水俣第二中学校環境教育「3つの心を育てる挑戦」取組構想図



## 2. 二中環境ISO行動項目 宣言

本校は、水俣市の中学校再編により新生二中として今年で2年目となる。今年度は生徒数がそれまでの約2倍に増えた平成23年度を基準年として宣言項目の見直しを委員会で行った。

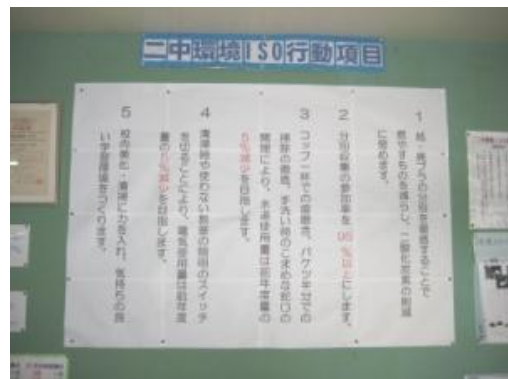
### 【行動項目設定の理由】

行動項目を設定するにあたっては、昨年度の行動項目を見直し、継続した取組が大切であると考えた。そこで、昨年度の行動項目を引き継ぎ、さらに変更が必要な点を検討した。

平成23年度は再編1年目ということもあり、生徒数や使用教室の増加に伴い電気や水道などの使用量を見当することが困難であった。そのため「前年度維持」を掲げていた。

平成24年度は、昨年度を基準として、水道・電気使用量の5%削減を掲げ、これまでの活動を再度意識し、取り組むことを目指した。また、昨年度達成することができなかった分別参加率95%以上という行動項目を含む、1、2、5の項目については継続とした。

この行動項目は全教室と（B4版）、環境ISOコーナー（広用紙）に掲示している。校内の多くの場所に掲示することで、どこにいても行動項目を意識できるようにした。また、校長室、職員室などには職員向けの行動項目を掲示し、生徒・職員が一体となった取組としている。



【掲示コーナー】

## 3. 行動の実際

### (1) 行動内容

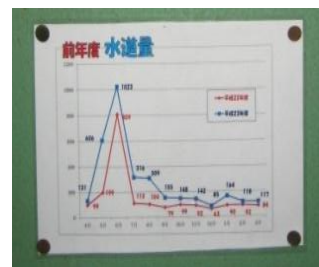
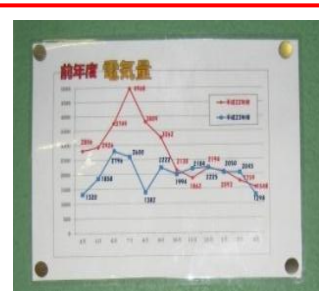
#### ・節電・節水

水道使用量、電気使用量を比較できるように、グラフに表し掲示している。比較対象としては、昨年度と一昨年度の2年間の結果を掲示している。

また、今年度は生徒が使用した電気量のみを計算するため、全体の使用電力量だけでなく、有効使用電力量を計算することとした。



【本年度 電気・水道使用量】



#### ・ゴミ分別収集

平成8年度より継続して「校内ゴミ分別の徹底」を行っている。

各教室に3種類のゴミ箱（燃やすごみ・廃プラ・紙ゴミ）を設置し、分別を行っている。掃除の時間には、リサイクルステーションに持ち込まれたゴミについて、整備委員会がきちんと分別されているかチェックを行い、ゴミ分別の徹底を図っている。

また、地域ゴミ分別収集への参加は今年で16年目の取組となる。昨年度、校区の拡大に伴い活動方法の見直しを行い、2班交代制とした。環境ISO委員会では分別収集の周知徹底や参加率を集計し、環境ISOだよりで報告している。



【校内ゴミ分別の様子】



【地域ゴミ分別収集の様子】

・校内環境検定

本校では環境に対する意識の向上を目指し『校内環境検定』を実施している。今年度は、検定に対する意欲を喚起するため、朝自習の時間を利用して5問程度の練習問題を3回実施した。

問題は選択式で、環境問題や地域の分別に関することなど基本的な事項となっている。また、環境に関する作文も出題し、環境に対する自分の意見を考える内容も出題する。



【環境検定の様子】

**環境検定**  
年 級 号 氏 名 ( )

- 自分たちの暮らしが自然を守り保ちていくために、環境にやさしい学校づくりを全校で取り組むことを何としようか。  
①ISO14001 ②環境マネジメントシステム ③エコアクション21 ④学校環境ISO
- オンライン保護者のための条例がどれか。  
①山形県条例 ②青森県条例 ③千葉県条例 ④山梨県条例
- 世界で二酸化炭素を削減している国は年間でどれくらいか。  
①90トン ②290トン ③290億トン ④290兆トン
- 生態系における生産者とは何か。  
①微生物 ②草食動物 ③植物 ④肉食動物
- 大規模な開発を行う前に、環境への影響を事前に調査することを何としようか。  
①環境アセスメント ②環境ハラスメント ③環境セクターメント ④環境調査

1	2	3	4	5
---	---	---	---	---

【環境検定練習問題】

**環境検定（問題例）**

- エコとは何の略称でしょうか。  
①エコティメント ②エコシステム  
③エコロジー ④エコライフ
- 色のついたピンはどの部分を見て分別するのでしょうか。  
① ②□ ③真ん中  
④決まっていない

【校内環境検定(例題)】

・家庭への発信

今年度からの取組とし、「環境ISOだより」の発行をしている。この通信では、毎月の分別収集の様子や参加率、電力使用量やその他の活動について担当の環境ISO委員がまとめている。

学校での活動だけでなく、地域と協力した取組についても発信することで、家庭での取組についても意欲を喚起していきたい。



【環境ISOだより】



【交流会の様子】

・他校との交流会

今年度、環境ISO委員会の取組をさらに深めるために同市内の水俣第一中学校との交流会を夏休みに実施した。水俣第一中学校の取組を学ぶことにより、本校の取組の良さや課題に気づき、また新たな活動に向けた意識を高めることができた。今後も継続して交流を深めていきたい。

・その他の活動

毎年、子どもエコクラブの活動として環境に関する壁新聞を作成し、二中の取組を広める活動を行っている。作成にあたっては、環境ISO委員がそれぞれ役割分担し、自分たちで内容だけでなくレイアウトも考えまとめている。

また、夏休みには環境に関する体験活動として「ミニみなまた環境塾」へ参加し、環境に対する意識を高めている。



【ミニみなまた環境塾に参加したときの様子】



【作成した環境新聞】

## (2) 記録

H23年度とH24年度は有効電力量を計算している。そのため、H22年度に比べ、数値が大幅に減少している。

H24年度は、こまめに電気を消すことなど取組をきちんとできたため、現在までで18%の電気使用量の削減ができています。

生徒数の増加に伴い、H22年度からH23年度では水道使用量は増加している。

H24年度では、バケツ半分での清掃やコップ一杯での歯磨きなどの取組をきちんとできたため、現在までで33%の水道使用量の削減ができています。

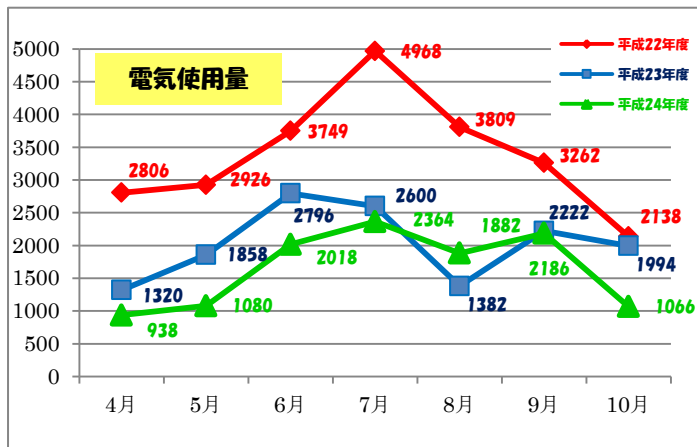
これは、7月のプールに使用した水量が少なかったことも一つの要因である。

分別収集参加率は95%以上を目標としているが、現在全ての月で達成がされていない。

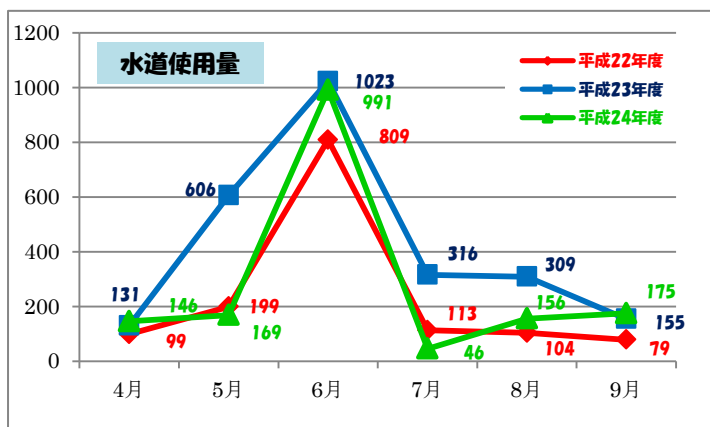
(最高で92%：4月)

極端に参加率の低かった9月の2区、4区については、2区は担当人数の5人に対して3人が欠席をしたことが理由と考えられ、4区では分別収集日が日曜日となり事前の呼びかけが充分に行き渡らなかったことが参加率を低くした理由と考えられる。

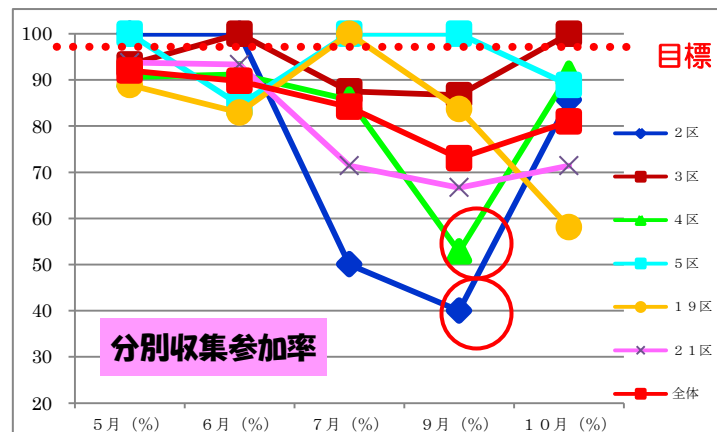
把握の方法や単なる呼びかけでなく、参加を促す方法を検討していかなければならない。



【各月の電気使用量の比較(3年分)】



【各月の水道使用量の比較(3年分)】



【各月の分別参加率】

## 4. 見直し(成果と課題)

### (1) 成果

一人ひとりの環境に対する意識が高まっている。これは、学校再編があっても「環境首都みなまた」の中学生の一人としての誇りと実績が伴っているからだと言える。節電・節水やゴミ分別収集など、これまでの活動を良き伝統とし、継続して取り組むことができていることが成果だと言える。

### (2) 課題

昨年度からの課題である、分別参加率の数値目標である95%以上参加が達成できていないことである。現在、呼びかけの強化を行っているが、それだけでなく具体的な方策を検討していくことが重要である。また、委員会活動も新たな取組を展開していかなければならないと考える。今年度始めた「環境ISOだより」の内容もより充実を図りたい。

「環境二中」としての自信と誇りを持って、今後も活動に取り組んでいきたい。